SONY

4-188-734-**02**(1)

パーソナル ドックシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

* 4 1 8 8 7 3 4 0 2 * (1)

RDP-NWV500

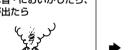
⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

➡

1. 運転中の場合は、安全な場所に車を停める。
2. 電源を切る。
3. AC パワーアダプターを接続している場合は、コンセントから抜く。
   シガー電源コードを接続している場合は、シガーライターソケットから抜く。
4. 本機から"ウォークマン"を取りはずす。
5. お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

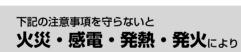
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災　感電	禁止　ぬれ手禁止　分解禁止	指示　プラグをコンセントから抜く

⚠危険　下記の注意事項を守らないと **火災・感電・発熱・発火**により **死亡**や**大けが**の原因となります。

（火災　感電）

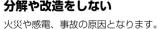
指定以外の AC パワーアダプターやシガー電源コードを使わない　禁止

必ず指定の AC パワーアダプター、またはシガー電源コードを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

⚠警告　下記の注意事項を守らないと **火災・感電**により**大けが**の原因となります。

（火災　感電）

内部に水や異物を入れない　禁止

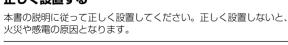
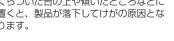
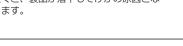
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターまたはシガー電源コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

AC パワーアダプターやシガー電源コードに水などをかけない　禁止

水などがかかると火災や感電の原因となります。万一、水などがかかったときは、すぐにプラグを抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ぬれた手で AC パワーアダプターやシガー電源コードをさわらない　ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

分解や改造をしない　分解禁止

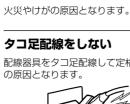
火災や感電、事故の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には置かない　禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。

正しく設置する　指示

本書の説明に従って正しく設置してください。正しく設置しないと、火災や感電の原因となります。

安定した場所に置く　指示

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落下してけがの原因となります。

コード類は正しく配線する　指示

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配線してください。

スピーカー本体、ドック、AC パワーアダプター、シガー電源コードを布団などでおおった状態で使わない　禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

指定以外の機器に使わない　禁止

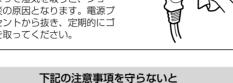
火災やけがの原因となります。

タコ足配線をしない　禁止

配線器具をタコ足配線して定格を超えた電流が流れると、火災などの原因となります。

AC パワーアダプターコードや電源コードを AC パワーアダプターに巻き付けない　禁止

断線して火災の原因となることがあります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する　指示

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントに接続してください。
通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

電源プラグは定期的に手入れをする　指示

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。

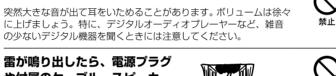
⚠注意　下記の注意事項を守らないと **けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

確実に設置する　指示

本機を確実に設置しないと、落下するなどして、事故やけがの原因となることがあります。設置後は、確実に設置されていることを確認してください。

子どもの手の届かない場所に設置する　指示

はずれた部品を飲みこんだり、落としてけがをしたりするなど、事故の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない　禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない　禁止

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときには注意してください。

雷が鳴り出したら、電源プラグや付属のケーブル、スピーカー本体やドックに触れない　禁止

感電の原因となることがあります。

通電中のスピーカー本体やドック、AC パワーアダプターに長時間触れない　禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く　プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。
通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く　プラグをコンセントから抜く

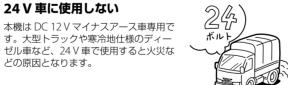
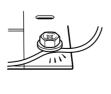
AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

車で使用するときのご注意

⚠警告　下記の注意事項を守らないと **火災・感電**により**大けが**の原因となります。

（火災　感電）

道路交通法に従って安全運転する　指示

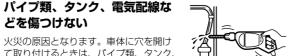
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に接続や設置、操作をしない。
- 運転中に本機を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

24 V 車に使用しない　禁止

本機は DC 12 V マイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24 V 車で使用すると火災などの原因となります。

運転操作や車体の可動部、エアバッグの動作を妨げる場所に設置しない　禁止

事故や感電、火災の原因となります。
次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

法令に従って、前方の視界を妨げる場所に設置しない　禁止

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

スピーカー本体は車の純正ドリンクホルダー以外に設置しない　禁止

スピーカー本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やけがの原因となることがあります。
また、市販のドリンクホルダーには設置しないでください。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない　禁止

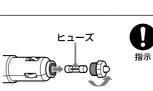
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。

付属の部品で正しく取り付ける　指示

他の部品を使うと、機器を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。

シガープラグは確実に挿入する　指示

奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと異常発熱して火災などの原因となります。また、シガープラグを差し込むときや抜くときは、イグニッションスイッチを OFF にしてください。

シガーライターソケットを点検・清掃する　指示

シガーライターソケットの中に煙草の灰や異物が入っていると、接触不良を起こし、シガープラグ部分が熱くなります。シガープラグが発熱すると、火災などの原因となります。

規定容量のヒューズを使う　指示

シガープラグ内部のヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン電池
リチウム電池 CR2025

⚠危険　ボタン電池が液漏れしたとき

ボタン電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲みこむおそれがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万一飲みこんだ場合は、窒息や胃などへの障がいの原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

使用上のご注意

安全について

- 付属の AC パワーアダプター、シガー電源コードを、本機以外の機器に使わないでください。故障の原因となります。
- 付属の AC パワーアダプターを使うときは、家庭用電源コンセント（AC 100 V ～ 240 V）に接続してください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグ部を持ってコンセントから抜いてください。

取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。
- 本機を以下のような場所に置かないでください。
  －直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度の高い場所
  －炎天下や窓を閉め切った自動車内（特に夏季）など、異常に高温になる場所
  －風呂場など、湿気の多い場所
  －ほこりの多い場所、砂地の上
  －時計、キャッシュカードなどの近く（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカー本体の近くに置かないでください。
- 無線機器をご使用の場合、誤動作の原因となることがあります。本機をアンテナからなるべく離してお使いください。

車で使うときは

- 本機に車のバッテリー電源を直接接続しないでください。故障の原因となります。
- 急ブレーキや急カーブで、本機に接続した"ウォークマン"や外部機器、コード類が動かないように、しっかりと固定してください。
- シガーライターソケットの形状によっては、シガー電源コードが入らないことがあります。
- 本機や"ウォークマン"、外部機器の操作や接続は、安全な場所に駐車してから行ってください。運転中や停車中に行わないでください。
- 車の種類によっては、エンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない場合があります。本機を使用しないときは、シガー電源コードを車から抜いてください。シガー電源コードを差したままにすると、微小電力を消費し、車のバッテリーあがりの原因となります。
- シガー電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグ部を持ってシガーライターソケットから抜いてください。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	原因	処置
音が小さい、または音が出ない	ケーブルが抜けかかっている。	接続を確認する。
	音量が最小になっている。	音量を上げる。
	接続ケーブルが端子にしっかりと接続されていない。	一度取りはずして、接続し直す。
	"ウォークマン"がドックにしっかりと接続されていない。	
	"ウォークマン"で音楽が再生されていない。	再生を開始する。
	入力が接続機器に切り替わっていない。	INPUT ボタンを押して、入力を切り換える。
	外部機器の音量が小さい。	外部機器の音量を上げる。
リモコンで本機、または"ウォークマン"を操作できない	スピーカー本体から離れすぎている。	リモコン受光部に近づけて操作する。
	リモコン受光部の前に障がい物が置いてある。	リモコン受光部の前から障がい物を取り除く。
	"ウォークマン"がしっかり接続されていない。	一度取りはずして、接続し直す。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
	リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらないようにする。
	入力が"ウォークマン"になっていない。	INPUT ボタンを押して、入力を"ウォークマン"に切り換える。
ブーンという音がでる、またはノイズが出る	テレビなど近くに音がでる機器を置いている。	音を発しているものから、本機を離す。
		電源を別のコンセントに接続し直す。
音がひずむ	音量が大きい。	音量を下げる。
	接続機器のバスブースト機能やイコライザ機能が有効になっている。	機能を解除する。"ウォークマン"のイコライザ機能の場合は、「オフ」または「フラット」に設定する。
	外部機器の音量が大きい。	外部機器の音量を下げる。
リモコンに電池が入らない（きつい）	電池を逆に挿入しようとしている。	極性（+/–）を確認して正しく入れる。
I/⏻ ボタンのランプがちらつく	音量を上げたときやリモコンを受信したときに I/⏻（電源／スタンバイ）ボタンのランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	
ラジオが受信できない	ラジオ付"ウォークマン"や AUDIO IN にラジオを接続した場合、ラジオ放送が受信できない、または感度が大幅に低下する場合があります。	

警告表示

誤った接続や使いかたをすると、I/⏻ ボタンのランプが点滅して本機が動作しなくなります。
スピーカー本体の端子は車内専用、ドックは室内専用です。スピーカー本体をドックに接続した状態で、スピーカー本体にシガー電源コードや接続ケーブルなどを接続しないでください。
I/⏻ ボタンのランプが点滅したときは、下記に従って対応してください。

I/⏻ボタンのランプ	原因	処置
2 回点滅を繰り返す	**スピーカー本体をドックに接続して、ドックの DC IN 12V 端子に AC パワーアダプターを接続している場合：**	
	スピーカー本体の WALKMAN 端子に、"ウォークマン"接続ケーブルを接続している。	"ウォークマン"接続ケーブルを WALKMAN 端子から抜く。
	スピーカー本体をドックに接続して、スピーカー本体の DC IN 12V 端子にシガー電源コードを接続している場合：	
	ドックに"ウォークマン"を接続している。	"ウォークマン"をドックから取りはずす。
3 回点滅を繰り返す	ドックとスピーカー本体の DC IN 12V 端子に、シガー電源コードと AC パワーアダプターの両方を接続している。	シガー電源コードと AC パワーアダプターを抜いて、いずれかを接続し直す。
	本機に、対応電圧（12 V）より高い電圧が加わっている。	必ず付属の AC パワーアダプター、またはシガー電源コード使う。
		DC 12 V 以外の電源電圧で本機を使用しない。
	本機内部の温度が上昇している。	本機の使用温度範囲内（5 ℃～ 45 ℃）で使う。
		スピーカー本体背面の通風孔をふさいでいないか確認する。

主な仕様

スピーカー部

実効出力（14.4 V）	16 W（全高調波歪 10 %、1 kHz、インピーダンス 4 Ω）（JEITA*[1]）
入力	**本体：**"ウォークマン"接続端子、ステレオミニジャック **ドック：**WM-PORT（22 ピン）、ステレオミニジャック
使用スピーカー	**ウーファー：**直径 56 mm **ツィーター：**直径 20 mm

電源部・その他

使用温度範囲	5 ℃～ 45 ℃
電源	**本体：**DC 12 V カーバッテリー（マイナスアース） **ドック：**DC 12 V
電源電圧	**本体：**DC 10.5 V ～ 16 V（シガー電源コード使用時） **ドック：**AC 100 V ～ 240 V（AC パワーアダプター使用時）
最大外形寸法	約 85 × 216 mm（直径×高さ、突起部含まず）
質量	**本体：**約 540 g **ドック：**約 120 g（アタッチメント含まず）

付属品

ドック（1）
AC パワーアダプター（1）
電源コード *[2]（1）
シガー電源コード（1）
リモコン（1）
ボタン電池（1）（リモコンに装着済み、お試し用）
"ウォークマン"接続ケーブル（1）
"ウォークマン"用アタッチメント（2）
フィッティングクッション（1）
ストラップ（1）
取り付け金具（1）
ネジ（2）
取扱説明書（本書）（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

*[1] JEITA は「電子情報技術産業協会」の略称です。
*[2] 付属電源コードは、AC100V 用です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではパーソナルドックシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

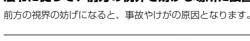
使い方相談窓口
フリーダイヤル……………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口
フリーダイヤル……………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2531**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

製品カスタマー登録のおすすめ
製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、カスタマー登録をおすすめしております。
詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

http://www.sony.co.jp/avp-regi/

商標

- "サウンドマグ"、"SOUND MUG"、"SOUND MUG"ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、® マークは明記していません。

各部の名前とはたらき

スピーカー本体

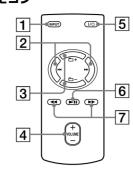
前面　　背面

1 **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受けます。

2 **INPUT（入力切換）ボタン**
“ウォークマン”と外部機器の入力を切り換えます。

3 **I/⏻（電源／スタンバイ）ボタン**
本機の電源を入／切します。電源が入っているときはランプが点灯します。

4 **VOLUME（音量）–/+ ノブ**
回して音量を調節します。

5 **ドック接続端子**
室内でドックに接続します。

6 **ストラップ用フック**
車内で、落下防止用のストラップを取り付けます。

7 **WALKMAN 端子**
車内で“ウォークマン”を接続します。

8 **DC IN 12V 端子**
車内でシガー電源コード（付属）を接続します。

9 **AUDIO IN 端子**
車内で外部機器を接続します。

ドック

1 **WM-PORT 端子**
室内で“ウォークマン”を接続します。

2 **AUDIO IN 端子**
室内で外部機器を接続します。

3 **スピーカー本体接続端子**
室内でスピーカー本体を接続します。

4 **DC IN 12V 端子**
室内で AC パワーアダプター（付属）を接続します。

リモコン

1 **INPUT（入力切換）ボタン**
“ウォークマン”と外部機器の入力を切り換えます。

2 **⏮/⏭（頭出し）ボタン（“ウォークマン”再生操作用）**
前／次の曲の頭出しをします。

3 **（フォルダー）+/– ボタン *1（“ウォークマン”再生操作用）**
次／前のフォルダー（曲のまとまり）の頭出しをします。

4 **VOLUME（音量）+/– ボタン *2**
音量を調節します。

5 **I/⏻（電源／スタンバイ）ボタン**
本機の電源を入／切します。

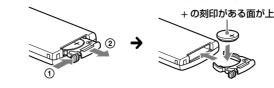
6 **▶II（再生／一時停止）ボタン *2（“ウォークマン”再生操作用）**
曲を再生／一時停止します。

7 **◀◀/▶▶（早戻し／早送り）ボタン（“ウォークマン”再生操作用）**
曲を早戻し／早送りします。

*1 お使いの“ウォークマン”によっては、操作できない場合があります。
*2 VOLUME +ボタンと ▶II ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

ご注意
- “ウォークマン”の音量を調節すると、本機の音量設定も変わります。
- 接続した機器によっては、音量を調節すると突然大きな音が出る場合があります。
- リモコンの ▶II ボタンを押しても、“ウォークマン”の再生が始まらないことがあります。
このような場合は、一度“ウォークマン”のいずれかの操作ボタンを押してから、リモコンで操作してください。

リモコンを使う前に

お買い上げ時には、リモコンに電池が入っています。
お使いになる前に、絶縁シートを引き抜いてください。

リモコンを使うときは

スピーカー本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意
- スピーカー本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- スピーカー本体の設置場所や向きによって、リモコンで操作できないことがあります。

リモコンの電池交換について

電池が消耗すると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
新しいリチウムボタン電池 CR2025（別売り）と交換してください。
リチウムボタン電池は、ふつうの使いかたをした場合約 1 年間もちます。

リチウムボタン電池についてのご注意
- 子供の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲みこんだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池ケースの中と電池を乾いた布でよく拭いてください。
- + と – の向きを正しく入れてください。
- 金属製のピンセットなどで電池をつかまないでください。ショートするおそれがあります。

警告
電池の使いかたを誤ると、破裂のおそれがあります。
充電や分解をしないでください。また、捨てるときは燃えないゴミとして処理してください。
電池を交換するときは、必ず同じ種類のリチウムボタン電池 CR2025 を使用してください。

本機に対応する“ウォークマン”

WM-PORT（22 ピン）搭載“ウォークマン”でご利用できます。
本機の対応機種について詳しくは、下記のホームページまたはカタログをご覧ください。

http://www.sony.jp/walkman/acc/

WM-PORT は“ウォークマン”とアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。
アタッチメントの対応機種については、下記の表をご覧ください。

アタッチメント	シリーズ名	モデル名	
A タイプ（本機に付属）	A シリーズ	NW-A820 シリーズ	NW-A829/A828*
		NW-A800 シリーズ	NW-A808/A806/A805*
	S シリーズ	NW-S740 シリーズ	NW-S746/S745/S744*
		NW-S740K シリーズ	NW-S745K/S744K*
		NW-S730FK シリーズ	NW-S738FK/S736FK*
		NW-S730F シリーズ	NW-S739F/S738F/S736F*
		NW-S640 シリーズ	NW-S645/S644*
		NW-S640K シリーズ	NW-645K/S644K*
		NW-S630F シリーズ	NW-S639F/S638F/S636F*
		NW-S630FK シリーズ	NW-S638FK/S636FK*
B タイプ（本機に付属）	A シリーズ	NW-A910 シリーズ	NW-A919/A918/A916*
	S シリーズ	NW-S710F シリーズ	NW-S718F/S716F/S715F*
		NW-S610F シリーズ	NW-S616F/S615F*
	X シリーズ	NW-X1000 シリーズ	NW-X1060/X1050*
オーバル型（別売りの“ウォークマン”に付属）	S シリーズ	NW-S740 シリーズ	NW-S746/S745/S744*
		NW-S740K シリーズ	NW-S745K/S744K*
		NW-S640 シリーズ	NW-S645/S644*
		NW-S640K シリーズ	NW-S645K/S644K*
	A シリーズ	NW-A840 シリーズ	NW-A847/A846/A845*

* 2010 年 4 月現在

ご注意
- 本機は、“ウォークマン”の音楽再生のみに対応しています。
- 対応以外の“ウォークマン”を本機に接続しないでください。本機で対応していない“ウォークマン”を使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応している“ウォークマン”でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 一部の地域では販売されていない“ウォークマン”もあります。

家で使う

準備する

室内で“ウォークマン”の音楽を聞くために必要なものを準備します。

- スピーカー本体
- ドック
- AC パワーアダプター
- 電源コード
- リモコン
- “ウォークマン”用アタッチメント（別売りの“ウォークマン”または本機に付属）*
- “ウォークマン”（別売り）
* 対応するアタッチメントについて詳しくは、「本機に対応する“ウォークマン”」をご覧ください。

接続する

1 付属の AC パワーアダプターをドックと電源に接続する。

2 スピーカー本体をドックに接続する。

ご注意
- スピーカー本体を、ドックにまっすぐ最後まで押し込んでください。左右に傾けると、電源が入らなかったり、音が出ない場合があります。
- 車で使用した後などは、スピーカー本体底面の端子にゴミなどが付着していないか確認してから、ドックに接続してください。また、端子は定期的に清掃してください。

3 “ウォークマン”用アタッチメント * をドックに取り付ける。
アタッチメントのツメを WM-PORT 端子左側の穴にはめ込んでから、反対側を指で押し込みます。

* お使いの“ウォークマン”または本機に付属のアタッチメントをご使用ください。
対応アタッチメントについて詳しくは、「本機に対応する“ウォークマン”」をご覧ください。

“ウォークマン”用アタッチメントを取りはずすときは

下図のように ○○○ マーク部分を上から強く押してから取りはずします。

AC パワーアダプターについて

- AC パワーアダプターを抜き差しする前に、本機の電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因となることがあります。
- 必ず付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。付属以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

極性統一形プラグ

音楽を聞く

1 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。
I/⏻ ボタンのランプが点灯します。

2 I/⏻ ボタンのランプが 3 回点滅するまで VOLUME ノブを－方向に回して、本機の音量を最小にする。
リモコンでは、VOLUME– ボタンを押します。

3 “ウォークマン”をドックに接続する。
WM-PORT 端子の角度に沿って差し込んでください。

“ウォークマン”の充電が始まります。
充電の状態は“ウォークマン”に表示されます。
詳しくは、お使いの“ウォークマン”に付属の取扱説明書をご覧ください。

ヒント
電源が入ったスピーカー本体をドックに接続した状態で、“ウォークマン”をドックに接続すると、入力が自動的に“ウォークマン”に切り替わります。

4 リモコンまたは“ウォークマン”を操作して、再生を開始する。
ドックに接続した状態で“ウォークマン”を操作するときは、“ウォークマン”を手でしっかりと支えてください。

5 VOLUME － /+ ノブを回して、音量を調節する。
リモコンでは、VOLUME+/– ボタンを押します。

ご注意
- Bluetooth 内蔵“ウォークマン”は Bluetooth 設定を解除してください。
- お使いの“ウォークマン”のダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT（バーチャルホンテクノロジー）、DSEE などが有効になっている場合は、解除してください。
- “ウォークマン”がワンセグを受信／録画しているときは、受信感度が大きく低下する場合があるため、本機を使用できません。

ヒント
スピーカー本体を接続していない状態で、ドックに“ウォークマン”を接続している場合も、ドックを電源に接続していれば“ウォークマン”を充電できます。

スピーカー本体や“ウォークマン”を取りはずすときは

ドックを手で押さえながら取りはずします。

ご注意
“ウォークマン”を取りはずすときは、WM-PORT 端子の角度に沿って抜いてください。

その他の機器の音楽を聞く

対応“ウォークマン”以外の外部機器も、本機に接続して音楽を聞けます。
接続ケーブル（別売り）を、ドックの AUDIO IN 端子と外部機器に接続します。

ご注意
- 突然大きな音が出て耳をいためないように、本機の音量を下げてから接続してください。
- 接続ケーブル（別売り）の形状によっては、本機の AUDIO IN 端子に接続できない場合があります。このような場合は、無理に差し込まないでください。本機の故障の原因となることがあります。

1 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。
I/⏻ ボタンのランプが点灯します。

2 I/⏻ ボタンのランプが 3 回点滅するまで VOLUME ノブを－方向に回して、本機の音量を最小にする。

3 INPUT ボタンを押して、外部機器に入力を切り換える。

4 外部機器を操作して、再生を開始する。

5 音量を調節する。
外部機器を適切な音量にし、本機の VOLUME － /+ ノブを回して調節します。

再生を開始しても音が出ないときは

上記の手順で再生を開始した後、音量を調節しても音が出ないときは、外部機器に入力が切り替わっていない可能性があります。このような場合は、再度 INPUT ボタンを押してください。

ご注意
- ラジオまたはワンセグチューナー内蔵機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大きく低下することがあります。
- 使用しないときは、接続ケーブル（別売り）をドックから抜いてください。差したままにしていると、ノイズが発生する原因となることがあります。

ヒント
リモコンでは、I/⏻ ボタンと VOLUME+/– ボタン、INPUT ボタンを使って操作できます。

車で使う

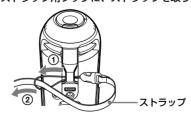
準備する

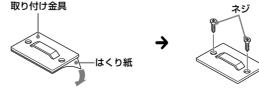
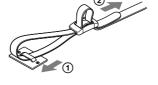
車内で“ウォークマン”の音楽を聞くために必要なものを準備します。

- スピーカー本体
- フィッティングクッション
- ストラップ
- 取り付け金具
- ネジ
- シガー電源コード
- “ウォークマン”接続ケーブル
- “ウォークマン”（別売り）
設置する

本機を車で使うときは、スピーカー本体を車の純正ドリンクホルダーに設置します。前方の視界や運転の妨げになるような場所を避け、確実に設置してください。

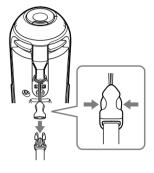
万一、走行中に本機が落下すると、事故やけがの原因となることがあります。本機の落下を防ぐために、下記の手順に従って必ず付属のストラップを取り付けてください。

1 ドリンクホルダーにスピーカー本体を設置する。
- ドリンクホルダーとスピーカー本体のサイズが合っている場合
- ドリンクホルダーとスピーカー本体の隙間が大きい場合

ご注意
- 設置前に、ドリンクホルダーが濡れていないか確認してください。スピーカー本体底面の端子が濡れると、故障の原因となることがあります。
- スピーカー本体の通風孔を、フィッティングクッションでふさがないようにご注意ください。
- サイズの小さいドリンクホルダーに、フィッティングクッションを無理に押し込まないでください。破損の原因となることがあります。

2 スピーカー本体のストラップ用フックに、ストラップを取り付ける。

3 取り付け金具の取り付け位置を決める。
ストラップを取り付けたとき安全に運転できるように、次のような場所を選んでください。
- 助手席側
- 万一スピーカー本体が落下した場合、ブレーキペダルの下に挟まらない場所
- ストラップがシフトレバーなどの操作を妨げない場所

4 取り付け金具を固定する。
固定する前に、取り付け面の汚れを拭きとってください。
① 両面テープのはくり紙をはがし、貼り付ける。
② ネジで固定する。

取り付け金具　はくり紙　ネジ

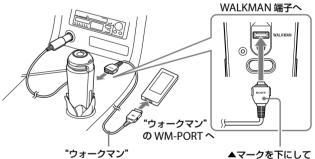
5 ストラップを取り付け金具に取り付ける。

6 ストラップがたるまないように、アジャスターで長さを調節する。

車からスピーカー本体を持ち出すときは

ストラップ先端部から取りはずします。

ご注意
本機を車内に長時間放置しないでください。使用後は直射日光の当たらない場所に保管してください。本機を高温の車内に放置すると、故障の原因となることがあります。

接続する

付属のシガー電源コードを、スピーカー本体とシガーライターソケットに接続します。

ご注意
使用後は、必ずシガー電源コードをシガーライターソケットから抜いてください。

音楽を聞く

1 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。
I/⏻ ボタンのランプが点灯します。

2 I/⏻ ボタンのランプが 3 回点滅するまで VOLUME ノブを－方向に回して、本機の音量を最小にする。

3 付属の“ウォークマン”接続ケーブルを、スピーカー本体と“ウォークマン”に接続する。

“ウォークマン”の充電が始まります。
充電の状態は“ウォークマン”に表示されます。
詳しくは、お使いの“ウォークマン”に付属の取扱説明書をご覧ください。

ヒント
電源が入ったスピーカー本体に“ウォークマン”を接続すると、入力が自動的に“ウォークマン”に切り替わります。

4 “ウォークマン”を操作して、再生を開始する。

5 VOLUME － /+ ノブを回して、音量を調節する。

ご注意
- Bluetooth 内蔵“ウォークマン”は Bluetooth 設定を解除してください。
- お使いの“ウォークマン”のダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT（バーチャルホンテクノロジー）、DSEE などが有効になっている場合は、解除してください。
- “ウォークマン”がワンセグを受信／録画しているときは、受信感度が大きく低下する場合があるため、本機を使用できません。
- エンジン始動時など、本機に正しく電源が供給されない場合、スピーカー本体の電源が切れ、“ウォークマン”の再生が止まることがあります。このような場合は、スピーカー本体の電源を入れ直し、“ウォークマン”を操作して再生を開始してください。

その他の機器の音楽を聞く

対応“ウォークマン”以外の外部機器も、本機に接続して音楽を聞けます。
接続ケーブル（別売り）を、スピーカー本体の AUDIO IN 端子と外部機器に接続します。

ご注意
- 突然大きな音が出て耳をいためないように、本機の音量を下げてから接続してください。
- 接続ケーブル（別売り）の形状によっては、本機の AUDIO IN 端子に接続できない場合があります。このような場合は、無理に差し込まないでください。本機の故障の原因となることがあります。

1 I/⏻ ボタンを押して、本機の電源を入れる。
I/⏻ ボタンのランプが点灯します。

2 I/⏻ ボタンのランプが 3 回点滅するまで VOLUME ノブを－方向に回して、本機の音量を最小にする。

3 INPUT ボタンを押して、外部機器に入力を切り換える。

4 外部機器を操作して、再生を開始する。

5 音量を調節する。
外部機器を適切な音量にし、本機の VOLUME － /+ ノブを回して調節します。

再生を開始しても音が出ないときは

上記の手順で再生を開始した後、音量を調節しても音が出ないときは、外部機器に入力が切り替わっていない可能性があります。このような場合は、再度 INPUT ボタンを押してください。

ご注意
- ラジオまたはワンセグチューナー内蔵機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大きく低下することがあります。
- 使用しないときは、接続ケーブル（別売り）をスピーカー本体から抜いてください。差したままにしていると、ノイズが発生する原因となることがあります。